

北海道統括支店 道東地域より新年のご挨拶

新春を迎え、皆様のご健勝と益々のご繁栄を心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、格別なご高配とご愛顧を賜りまして厚く御礼申し上げます。

今年も引き続き変らぬお引立てを賜りますよう心からお願い申し上げます。

昨年、北海道は6月以降の記録的な高温と7月・8月の多雨などの気象状況が農作物に大きく影響を与え、道が取り纏めた農作物の被害状況は、118市町村からの報告から減収見込農家数は2万3,400戸、減収見込総額は502億円に及んでいます。農作物別の中で飼料作物の被害総額は8億円に及びました。

昨年の1番草グラスサイレージは天候不順から水分含量が多く、粗たんぱく質が低く、繊維含量が多い傾向です。カリウム、マグネシウム含量が年々減少しています。

コーンサイレージは水分含量が少なく、TDN含量は少し多く、でんぷん含量が非常に多い傾向です。グラスサイレージと同様にカリウム、マグネシウム含量が年々減少しています。

グラスサイレージ、コーンサイレージとも飼料分析を行い、分析結果を基に効率的な飼料設計を行う事をお勧めします。

◎農林水産大臣賞受賞

昨年の11月に弊社北海道研究農場長 高山光男がアルファルファ「ケレス」の育種と限界地帯根釧への普及に尽力した事が評価され農水省の「民間部門功績者表彰」の大臣賞を受賞しました。北海道の草地酪農地帯で、アルファルファ栽培の障害となっている凍害、そばかす病、雪腐病に対して、抵抗性に優れたアルファルファ「ケレス」を育成するとともに、「ケレス」普

及の為の草地造成法を開発し、飼料の自給率向上への貢献が評価されました。アルファルファ「ケレス」は根釧地域の皆様のご理解とご協力により開発から栽培まで多くの検証を行っており感謝申し上げます。

現在、根釧地域から全道にアルファルファ「ケレス」が広がっています。

◎チモシー中生・新品種「アルテミス」・「ヘリオス」の紹介：2009年北海道優良品種に認定

・アルテミス（中生の早）

「アルテミス」は弊社中生品種「ホクエイ」より約3日早い（中生の早）の品種で1番草が多収で刈取り後の再生が非常に優れ、2番草も多収で、マメ科牧草特にアルファルファとの混播に適し、斑点病抵抗性に優れる品種です。

・ヘリオス（中生の中）

「ヘリオス」は弊社中生品種「ホクエイ」と同熟期の（中生の中）の品種で1番草刈取り後の再生が優れ、2番草の収量が多収で、マメ科牧草との混播に適し、放牧適性に優れる耐倒伏性、斑点病抵抗性に優れる品種です。

チモシー中生の新品種「アルテミス」・「ヘリオス」の2品種の試作用種子を用意しております。

是非とも一度近くの営業所へお問い合わせ下さい。

アルファルファ「ケレス」を始め新品種の開発を更に進めていき良質粗飼料の確保の為に最善を尽くす所存ですので、皆様のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げますとともに相変りませぬご愛顧、お引立をお願い申し上げます。

北海道統括支店 道東地域担当
副統括支店長 白石 良太